

蜂谷戸防災かわら版

第7号

自分の命は自分で守ろう！

「近助」と「自守防災」！

平成26年7月5日

小川自治会

蜂谷戸支隊

情報・広報班

自主防災隊の活動報告

<自主防災隊全体の活動>

6月10日 「安全ノート」2014年版発行、全隊員に配布

6月29日 隊長・支隊長会議開催（活動報告、機材・資材調達計画、訓練・講習計画、マニュアル他）

<蜂谷戸支隊の活動>

6月6日 定例支隊長会議開催（26年度組織、全体会議の議題、非常時の行動手順書他）

6月21日 防災関連TV番組上映会(地震と火災)開催・・・全隊員対象

6月29日 26年度「全体会議」開催(25年度実績、26年度活動計画、26年度組織、防災番組上映他)

ご存知ですか？…防災豆知識

<生活用水はどれ位必要？>

・皆さん、私達は日頃どれ位の生活用水を使っているかご存知ですか？何と驚くなかれ、1日1人平均約240ℓもの水道水を使っているそうです。内訳は次の通りです。(東京都水道局調査)

| | | | | | |
|-----|-----|----|-----|----|-----|
| トイレ | 28% | 風呂 | 24% | 炊事 | 23% |
| 洗濯 | 17% | 洗顔 | その他 | 8% | |

・トイレ、風呂、洗濯で約70%を占め、約170ℓの水を使っていますが、炊事、洗顔その他だけでも1日1人約70ℓもの水を使っていることになります。

・災害時、給水車が来るようになって、暫くは飲料用が精一杯で、大量の生活用水が給水されるにはかなりの期間がかかると思われます。

・しかも、町田市の発表によると、上下水道回復の目標期間は30日だそうです。

・それでは、一体生活用水は1日どれ位、何日分備蓄すればいいのでしょうか？

・残念ながら「生活用水はこれだけあれば大丈夫」という数字はどこからも全く示されていません。余りにも膨大な量になるので、パニックを恐れて発表できないのかもしれませんが。

・結論として、今私達にできることは、公助を期待せず、① できる限り、少しでも多くの水を備蓄すること、② 日頃から「水を使わない備え」を進めることしかないようです。

耳より！…役に立つ防災ノウハウ

<生活用水・2つの備え>

「第1の備え⇒少しでも多く水を貯める備え」

① 毎日お風呂の残り湯を貯めておく

防災対策の定番です。これで150ℓ前後の水を備蓄することができ、防火用水にも使えます。

② 「貯水タンク」、「雨水タンク」を設置する

・水道水を溜める貯水タンクは、100ℓ～200ℓのタンクをネットで入手できます。税込1万円前後。

・雨水タンクは、1度設置すればタダで水を備蓄できます。100ℓ～200ℓが1万円～14千円、ネット。雨樋にホースを取り付ける工事が必要ですが、説明書通りにやれば素人でも可能です。

③ 「エコキュート」等の電気給湯器を設置する

370ℓ～550ℓと大容量の水を備蓄できます。

設置総費用80万円～120万円位(メーカーによる)

「第2の備え⇒水を使わない備え」

① 簡易トイレ(非常用トイレ)を備蓄する

これが最も重要な対策です。袋と凝固剤がセットになっていて、袋ごと捨てることができ、水は不要です。少なくとも10日以上備蓄することをお奨めします。(30回分入り1箱 税込約3,900円)

② ラップ、アルミホイル、紙製の皿・コップを活用

うまく活用すれば、洗い物の水が不要になります。

③ ドライシャンプー、ウエットティッシュを備蓄

洗髪や洗顔、体を拭くのに使え、水を節約できます。

④ 下着・衣類を捨てず、非常用に備蓄(洗濯せずに済む)